

1. 基礎情報

自治体名	浜松市
担当部署名	企画調整部国際課
電話番号	053-457-2359
ホームページ	https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/



不就学ゼロ作戦事業における家庭訪問の風景

在留外国人数	令和5年4月現在	27,036	人	住民基本台帳人口に占める割合	3.4	%			
うち、 <u>国籍別上位3ヶ国の人数及び国籍名</u>	1位 (ブラジル)	9,708	人	2位 (フィリピン)	4,225	人	3位 (ベトナム)	3,923	人

2. 多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	コミュニケーション支援	
小分類	日本語教育の推進	
取組のポイント	外国人学習支援センターを拠点とした地域日本語教育の推進	
具体的な取組内容	外国人市民のための日本語教室開催や日本語学習支援ボランティア養成など、総合的な学習支援を行う市の多文化共生推進の拠点施設として、2010年1月に浜松市外国人学習支援センターを開設。同センターでは、生活言語として必要な日本語を学習する機会を無償で提供するとともに、市内で日本語学習支援を行っているNPO等支援団体と連携し、地域資源を生かした日本語学習サポートを実施している。 ○「浜松市外国人学習支援センター」開設:2010年1月18日 内容:日本語を学習する初心者や初級レベル者を対象として、年間を通じて複数のクラスを開催 https://www.hi-hice.jp/ja/organization-overview/about-us/u-toc/ ○「地域日本語教育推進方針」策定:2020年2月 内容:推進施策(1)推進体制の整備(2)学習機会の確保・充実(3)日本語教育に携わる人材の養成(4)企業・経済団体との連携	
大分類	生活支援	
小分類	教育機会の確保	
取組のポイント	外国人の子どもの不就学を生まない「浜松モデル」の推進	
具体的な取組内容	外国人の子どもの就学状況の継続的な把握と不就学の解消、不就学を生まない仕組みの構築のため、2011年度から開始。事業開始3年目の2013年9月に不就学ゼロを達成し、引き続き、関係機関との連携により「浜松モデル」を推進している。 ○外国人の子どもの不就学を生まない「浜松モデル」 (1) 転入時等の就学案内…住民登録窓口での多言語による就学案内チラシの配布や教育総合支援センターへの案内 (2) 就学状況の継続的な把握…学齢期の外国人の子どもの就学案内を把握する学齢簿に準ずる名簿を整備・運用し、全戸訪問調査を定期的に実施 (3) 就学に向けてのきめ細かな支援…訪問による就学案内や就学に関する情報提供、教育総合支援センターでの就学準備サポートや教育相談 (4) 就学後の定着支援…日本語学習支援や初期適応支援等の実施、外国人学校へのカウンセラー派遣 等	